

連載 ツールマニアックス TOOL MANIAX

第4回

インスペクターの道具について語ろう!

インスペクターの道具にまつわる偏愛と発見!何気なく使っている道具に対するこだわりをたっぷり語っていただくツールマニアックス。

第4回はDX(デジタルトランスフォーメーション)で作業を効率化している東北エリア部会、八鍬宏明エリア部会長からお話をお聞きしました。



株式会社ヒロ・アーキテック
JSHI東北エリア部会長
八鍬宏明氏

聞き手 ホームインスペクターズジャパン編集部
三原広聡

インスペクション作業は二人一組で

編集部 前回の松田さんと同様、八鍬さんも工務店業務とホームインスペクションを両立されていますね。

八鍬氏 いや、実はもう体力的に床下や小屋裏は大変で(笑) 基本的にインスペクション業務は息子である専務と二人で行うようになりました。

編集部 よくインスペクション業務は一人仕事とお聞きしますが、コスト的に大丈夫ですか?

八鍬氏 作業効率が高まるので却ってこちらの方が(コストパフォーマンスが)良いくらいです。基本的にインスペクター資格を持っているのは私なので、診断は私、狭所の写真撮影や写真整理を専務が行うという分業体制を敷いています。

インスペクション報告書の要はやっぱり写真!

八鍬氏 インスペクション業務は調査と報告で成り立っていますが、調査が終わってからの報告書の作成が一番重要なのがやっぱり写真だと思ってます。写真の撮り方はもちろんなんですけども、その撮った後にいかにこう整理してわかりやすく報告書に添付できるかっていうのがうーん最初は本当に難しかったんですね。

編集部 なるほど。毎回相当な枚数を撮影されるわけですからね。

八鍬氏 私は外壁から調査を始めるのですが、基礎や屋根など外回りだけでも100枚、一回の物件で200枚以上になりますから、報告書を作成しようという段階で「これどこだ?」

となりがちです。今は午前中に調査、午後にとまとめ作業というルーティンでやっています、その日のうちに報告書まで書き上げてしまいます。

編集部 それはすごい。その日中に報告書完成というのは初めて聞いたかもしれません。確かに効率が良いですね。

八鍬氏 二日目に持ち越してしまって、わからなくなって大変という事もありましたし、なるべくその日のうちに終わらせるようにしています。

撮影はスマートフォン、写真の整理や共有はアプリ活用で超整理!

編集部 なるほど、その写真の管理に八鍬さんならではのツールがあるわけですね!

八鍬氏 実は、今年に入ってから写真の管理に現場管理用のアプリを使っているんですよ。

編集部 差し支えなければなんというアプリか教えていただけますか?

八鍬氏 はい。協力業者さんたちと一緒に「アンドパッド^{※1}」を導入しました。工程の管理から

現場の状況まで業者さんと共有できるというのですが、このアプリの写真管理機能がインスペクションの写真管理でも使いやすいのです。スマホで撮影すると、その場で仕分けしてフォルダーに格納することができるので、後で見直すときにも何の写真だったかがスグに分かります。おかげで報告書作成の効率が大幅に上がりました。スマホとPC、i-padなどにこのアプリを入れておくと、クラウドでデータが共有できるので便利です。

※1 アンドパッド <https://andpad.jp/>

八鍬さんが利用されている機能は「アンドパッド黒板」で、以下のURLで詳細を見ることができます。
<https://andpad.jp/products/blackboard>

編集部 「アンドパッド」は有償のアプリですか?

八鍬氏 はい。導入すると毎月一定のコスト^{※2}が掛かります。もともとは工務店としての現場管理用にと導入したのですが、結果として現場監督を雇うよりも安いと思っています。無料のプランもありますが、先に話したように業者間でしっかり使えるようにと有償プランを採用しました。ただ、機能が多すぎてまだ全てを使いこなせてはいませんし、インスペクション専業の方だとちょっと高いかもしれませんね。

※2 八鍬さんは2024年12月現在で月34,000円のプランとのこと

編集部 そういえば、先ほど「スマホで撮影」と話されましたが、工事現場御用達のごついカメラとかじゃないんですか?

八鍬氏 スマホで十分、というよりスマートフォンの方が断然便利です。デジタルカメラでは

データのサイズを合わせたり、撮影の設定が面倒だったりするでしょう?スマホはそのままでも良く撮れますし、アプリとの組み合わせでデータの整理まで自動的に完了しますから。あとは会社のPCで報告書をまとめるだけです。あと、スマホやパッドだと雨の日も記録が楽なんですよ。紙と違って。ここ山形はこれから雪のシーズンですし、スマホで現場の記録ができるのは何かと助かるんです。

編集部 スマホの活用もそこまで来ているんですね。因みに報告書の作成は…

八鍬氏 もちろん診断上手NEXTで作成していますよ。

編集部 ありがとうございます。やはりDXというか、ITを使いこなすところに効率化のカギがあるんですね。